

ミカン生育情報

千葉県
平成 20 年 11 月号

平成 20 年 10 月の気象

平均気温は、第 1 半旬が平年より 2.4℃、第 3 半旬が 0.1℃低かった他は、平年並み～3.3℃高く推移した。月平均気温は 18.3℃で平年より 0.3℃高かった。降水量は、23～24 日にまとまった雨が降った。これは関東の南岸を低気圧が進んだためである。月合計降水量は 242mm とほぼ平年並みとなった。日照時間は、平年をやや下回る半旬が多く、月合計日照時間は 130 時間と平年の 95%であった。

表 1 平成 20 年 10 月の気象 (暖地園芸研究所)

平均気温 °C		降水量 mm		日照時間 hr	
本年	平年	本年	平年	本年	平年
18.1	20.5	37	40	23	20
19.7	18.8	66	69	15	20
18.5	18.6	20	34	16	21
18.1	17.8	0	45	31	22
19.6	16.3	119	29	16	24
16.1	16.1	0	32	28	29
18.3	18.0	242	249	130	137

早生温州の果実品質

10 月 28 日時点での果実品質を見ると (表 2)、着色の進みは全ての調査園で平年より遅かった。糖度は平年と比べ千倉地区で 1.3%、暖地園研で 2.2%それぞれ高く、三芳地区で 0.7%低く、全地区を平均すると 0.9%高かった。酸度は三芳地区と暖地園研でそれぞれ平年より 0.27～0.04%高く、3 地区平均では 0.08%高かった。

7～8 月の少雨の影響を受け、早生温州の糖度は例年になく高い傾向である。酸もやや高いが甘味比は平年よりやや高い。果肉歩合は平均 83.2%と平年よりやや高く、果皮が薄い。

表 2 早生温州の果実品質 (平成 20 年 10 月 28 日)

調査地	着色程度		糖 度%		酸 度%		甘味比		果肉歩合%	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
三芳地区	6.9	7.6	8.8	9.5	1.33	1.06	6.6	9.2	83.1	80.3
千倉地区	7.8	8.3	11.0	9.7	1.16	1.23	9.5	8.0	83.3	81.0
暖地園研	7.4	7.9	11.2	9.0	1.08	1.04	10.4	8.9	83.3	82.3
平均	7.4	7.9	10.3	9.4	1.19	1.11	8.8	8.7	83.2	81.2

平年値は平成 5～19 年の平均値 甘味比＝糖度／酸度

三芳地区は本年は裏年

果実の生育

夏季の少雨のため、小玉傾向で推移してきたが、9月以降の降雨により果実の大きさは平年に近づいた。調査園3ヶ所の平均で見ると、横径および縦径の平年比は、早生温州、普通温州いずれも99、96%となった。早生温州の果重は、平均104gで平年の92%であった。早生温州、普通温州とも、摘果方法の改良により、大き過ぎず扁平で良形の果実の生産が定着してきた。川野夏柑の果径も98、96%で平年に近づいてきた。

表3 果実の生育（平成20年10月28日）

No.	種類・品種	調査地	横 径	縦 径
1	興津早生	三芳地区	7.1 cm (108)	5.2 cm (103)
2		千倉地区	6.1 (95)	4.7 (95)
3		暖地園研	6.3 (95)	4.6 (91)
4	大津4号	三芳地区	6.8 (98)	4.7 (95)
5		千倉地区	7.2 (99)	4.8 (97)
6		暖地園研	7.1 (97)	4.8 (94)
7	青島温州	三芳地区	7.0 (100)	5.0 (99)
8		千倉地区	6.9 (97)	4.7 (95)
9		暖地園研	7.2 (101)	4.8 (94)
10	川野夏柑	暖地園研	8.8 (98)	6.8 (96)
	平均*	早生温州	6.5 (99)	4.8 (96)
		普通温州	7.0 (99)	4.8 (96)

() の数字は平年値（平成6～19年の平均）を100とした比数

* 早生温州：No.1～3の平均 普通温州：No.4～9の平均

11～12月の栽培管理

普通温州の収穫・予措 樹冠の外周部や上部の着色が早い果実を先に収穫し、樹冠内部の着色の遅いものは後から収穫する分割採取で行うのがよい。収穫のタイミングは、8分着色以上で浮皮が発生する前が適当である。果実の着色は貯蔵中にも進む。

果実の傷は腐敗の大きな要因となるため、収穫や選果の際は果実をていねいに扱うよう心掛け、また、果実が濡れている時は収穫をさける。

収穫した果実は予措を行い、貯蔵庫へ搬入する。予措は、果皮の水分を貯蔵前に減少させることで果皮及び果実の呼吸を適度に抑制し、貯蔵性を高めることができる。収穫した果実はコンテナに8分目くらい詰め、風通しの良い屋内におき、10日間ほどで果実重を3～5%程度減少させる。浮皮の程度が著しい果実は5～6%の強めの予措を行い、早めに出荷する。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話 0470-22-2961
果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧になれます。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>